

現場後代検定成績

「但馬系」種雄牛・本県歴代一位

『弁慶3』の誕生について

(脂肪交雑 BMSNo.8.8、枝肉重量 542.2kg)

全国的に高い知名度を誇る但馬系種雄牛「北乃大福」を父に、脂肪交雑及び枝肉重量育種価ともに高い「さつき」を母に持つ、但馬系の種雄牛「弁慶3」号（平成23年12月20日生、壱岐市産）の現場後代検定が終了しました。

検定成績は下表のとおりで、肉質において最も重要視される脂肪交雑が BMSNo.8.8 と但馬系種雄牛の中で本県歴代1位となる好成績を収めました。また、枝肉重量 542.2kg、ロース芯面積 71.1cm²、バラの厚さ 9.1 cm と主要な産肉能力形質においても但馬系種雄牛としては本県歴代最高の優秀な成績を記録しました。

全国トップクラスの但馬系種雄牛の誕生により、糸桜系（「平茂晴」、「茂晴23」等）や気高系（「金太郎3」、「勝乃幸」等）種雄牛を併用し、今後「長崎和牛」の飛躍的な品質向上が期待されます。

現場後代検定成績（去勢12頭）

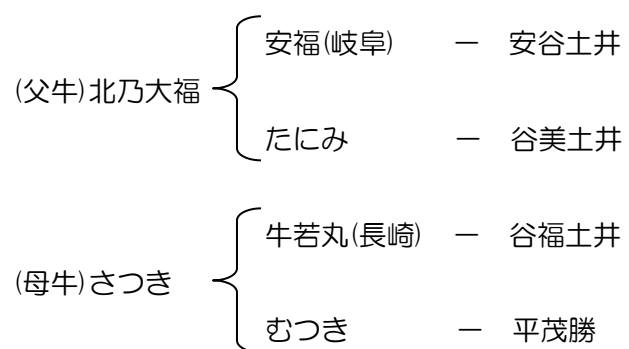
区分	脂肪交雑 (BMSNo.)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	上物率 (%)
弁慶3	8.8	542.2	71.1	9.1	100.0
県平均	6.6	479.3	57.8	8.1	78.2

※ 県平均：平成27年次長崎県産産子の肥育成績(去勢)平均値（改良センター集計）

『弁慶3』本牛



血統



主な枝肉成績



BMSNo. 12 (A5)

枝肉重量：558.5kg

ロース芯：73cm²



BMSNo. 11 (A5)

枝肉重量：565.2kg

ロース芯：77cm²



BMSNo. 10 (A5)

枝肉重量：527.8kg

ロース芯：76cm²